

2017年7月10日

2017（平成29）年度
第1回 中国地区英語教育学会 理事会

日時：2017（平成29）年6月24日（土）11:00～12:30

場所：広島大学 教育学部 第1会議室

○出席者：深澤清治（会長），堂鼻康晴（副会長），竹野純一郎（副会長），足立和美，樋口慎一，飯島睦美，鬼田崇作（事務局），小山尚史，猫田英伸，大谷みどり，高橋俊章，達川奎三（紀要編集委員長），山根正樹，

○欠席者：松浦伸和，白石信之，渡部靖徳

理事会の開催に先立ち，深澤会長より挨拶があった。

【報告事項】

1. 第48回 中国地区英語教育学会（広島大会）について

築道大会実行委員長より，事前参加申込数50名程度，発表件数24件について報告があった（最終参加者は105名）。

2. 『中国地区英語教育学会研究紀要』第48号と競争的研究費（Grant-in-aid for CASELE Researchers）
について [資料9]

達川紀要編集委員長より，紀要編集スケジュールと2017年度のCASELERs研究費の応募スケジュールについて報告があった。

3. ARELE vol. 29の紀要編集委員，査読委員の選出について [資料10]

深澤会長より，5月14日付にて全国英語教育学会紀要編集事務局（飯村先生）より「ARELE第29号の編集委員，査読委員の選出」について依頼があり，資料10のとおり回答したことについて報告があった。

4. 全国英語教育学会 平成29年度第1回理事会について [資料11]

事務局より，資料11に基づき，平成29年度全国英語教育学会第1回理事会について報告があった。

5. 全国英語教育学会第43回島根研究大会の準備状況について

高橋大会事務局長より，現在までの準備状況および今後の見通しについて報告があった。

6. その他

なし。

【協議事項】

1. 2016年度会務報告・会計報告

[資料1・2]

事務局より、資料1・2に基づき、2016年度会務報告・会計報告について説明がなされ、審議が行われた結果、原案どおり承認された。なお、大森誠氏（呉工業高等専門学校）からの監査報告書により、適正な処理が確認されたことが報告された。

□ 資料1：中国地区英語教育学会 2016年度（平成28年度）会務報告 [A4 1枚]

資料2：中国地区英語教育学会 2016年度（平成28年度）会計決算報告書 [A4 1枚]

2. 2017年度事業案・予算案

[資料3・4]

事務局より、資料3・4に基づき、2017年度事業案・予算案について説明がなされ、審議が行われた結果、原案どおり承認された。

□ 資料3：中国地区英語教育学会 2017年度（平成29年度）事業案 [A4 1枚]

資料4：中国地区英語教育学会 2017年度（平成29年度）予算案 [A4 1枚]

3. 中国地区英語教育学会（紀要）での発表（投稿）回数制限について

事務局より、中国地区英語教育学会での発表回数、研究紀要への投稿数を筆頭1件、筆頭以外1件、計2件を上限とする案が提示され、審議が行われた結果、原案どおり承認された。なおこの規則は2018（平成30）年度より適用されることが確認された。

4. 『中国地区英語教育学会紀要』のJ-STAGE掲載における業者選定について

[資料5]

達川紀要編集委員長より、業者選定の過程と選定業者の提案があり、審議が行われた結果、原案どおり承認された。

5. 第49回 中国地区英語教育学会 山口大会について

山口地区の高橋理事より、日程と会場について提案がなされ、次年度の大会は2018年6月23日（土）に、山口大学教育学部で開催されることが承認された。

6. 全国英語教育学会紀要編集担当ローテーション及び研究大会の運営等について

[資料6]

事務局より、本年全国英語教育学会第1回理事会で提案された全国英語教育学会紀要編集担当ローテーション変更案が報告され、審議が行われた。その結果、中国地区英語教育学会から全国英語教育学会への回答としては、第一案として現在のローテーションを守ること、それが不可能な場合は、第二案として中国地区英語教育学会を含む小規模地区同士の合同担当とすること、の二案が承認された。その際、(1) 現状からの変更が行われる場合は数年間の猶予を作ること、(2) 単純な会員数だけではなく、実質的な活動会員数を反映する新たな指標に基づき検討する必要があること、(3) 大会開催を大都市に限り、運営は第三者に委託することを検討すること、などの意見が出た。

7. 研究セミナーについて

[資料7]

事務局より、2017年度の3月（2018年）に中国地区英語教育学会が全国英語教育学会の研究セミナーを担当する旨の報告を行い、会場、当日のコーディネーターなどの詳細は今後協議することが確認された。

8. 全国英語教育学会 第43回 島根研究大会 実行委員会規約の改正について

[資料8]

高橋大会実行委員長より、資料8に基づき、島根研究大会の実行委員会規約の改正について提案があり、審議が行われた結果、原案どおり承認された。

9. その他

鳥取地区の足立理事より、次回の鳥取地区での研究大会開催が難しくなることが想定されることの報告があり、本件について来年の理事会で審議が行われることとなった。

竹野理事より、全国英語教育学会第43回島根研究大会の運営委員を追加する案が示され、審議が行われた結果、原案どおり承認された。

達川紀要編集委員長より、査読委員を増やす案が示され、紀要編集委員会規定を変更し査読委員を増やすか否かについて、メール審議が行われることとなった。

深澤会長より、第50回記念大会について記念出版や研究大会での記念講演などを行う案が示され、50回記念大会へ向けて案を検討することが承認された。